

一般質問



※すべての質問を掲載しているわけではありません。
詳しく知りたい方は、QRコードを読み取り、録画中継をご覧ください。

町全体の土地利用の ビジョンは

「ビジョンを明確にしよう」

問 権限移譲後の運用と市街化調整区域を含めた町全体の土地利用のビジョンは。

答 開発許可の権限が県から町に移譲されたことに伴い、本町では建築技師等の専門職の採用を進めるなど運用体制を整備している。

今後20年を見据えた町の将来像と整備方針を示す「都市計画マスタープラン」の中で、土地利用の全体ビジョンを明確にしていく。

市街化調整区域は北伊予や町田地区に特に多い。町単独ではなく松山広域都市圏に位置付けられている中予管内市町で連携して県に相談し、市街化調整区



重松 知之
議員



域における既存建築物の利活用を妨げている規制の見直しに向けて取り組んでいきたい。

多言語対応をどう 行っているか

生活に身近な行政サービスを中心に、必要な分野から順次拡充している

問 本町で多言語対応はどのように進んでいるのか。

答 今のところ、保育・教育現場における多言語支援のニーズは限定的であり、今すぐに支援員の派遣や経費支援を行う必要性は低いと考えている。

保育・教育現場だけでなく、地域住民やボランティア団体が協働して支援できるよう、地域ぐるみの支援体制づくりも視野に入れて支援策を検討していきたい。



持続可能で公平性のある多言語支援体制の整備を。